

広島市立北部医療センター安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	急性期病院における口腔機能低下症の実態調査
研究責任者 (所属科名)	福谷 多恵子 (歯科・口腔外科)
本研究の目的・意義	高齢者における口腔機能が低下していく状態を評価、診断するために、2016年に「口腔機能低下症」という概念が老年歯科医学会により提唱されました。 口腔機能を維持することは、QOL 維持・向上につながります。摂食機能を維持することで、摂食量の低下を予防し、栄養状態を改善します。また、発語機能を維持して、家族や医療者とのコミュニケーションがとれるようになります。 「口腔機能低下症」は、「口腔機能障害」と異なり、早期発見、早期対応によって正常な口腔機能に戻れる状態です。したがって、われわれが、検査、診断を行い、継続的な口腔機能管理をすることが必要ですが、全身疾患を有し、全身状態が回復していない患者であると、通常の検査・評価が難しいのが実情です。さらに、当院のような急性期病院では、入院日数が短く、継続的な口腔管理は難しい現状があります。 しかし、急性期病院から、回復期病院への転院、自宅退院にケア移行する中で、歯科も切れ目のない医療の提供体制の確保が必要です。つまり、「口腔機能低下症」の患者様が退院された後に、地域の歯科で、安心して治療が継続できるようなシステム作りが重要となります。 そこで、今回、われらは、当院における口腔機能低下症の実態調査することとしました。 最終的には、急性期病院における口腔機能低下症の検査・評価方法を確立させ、その上で治療立案し、患者様が地域の歯科で適切な歯科治療および口腔ケアを行えるようにすることを目的としています。
調査方法・研究期間	調査方法：後ろ向き観察研究 データ収集期間：2022年6月1日～2024年5月31日(場合により延長あり)。

	研究期間：2024 年 12 月までを予定しています(場合により延長あり。)
該当資料・データ	対象となる患者様 2022 年 6 月～2024 年 5 月に、口腔機能低下症の疑いで、安佐市民病院 歯科・口腔外科にて院内紹介となった患者様。 ★利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。 (患者様の年齢、性別、診断名、既往歴、かかりつけ歯科の有無、入院日数、ADL、転帰、嚥下造影検査の結果、口腔カンジダ症の有無、口腔機能検査結果、血液検査データなど)
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	担当者：歯科・口腔外科 副部長 福谷多恵子 電話番号：082-815-5211
備考	なし